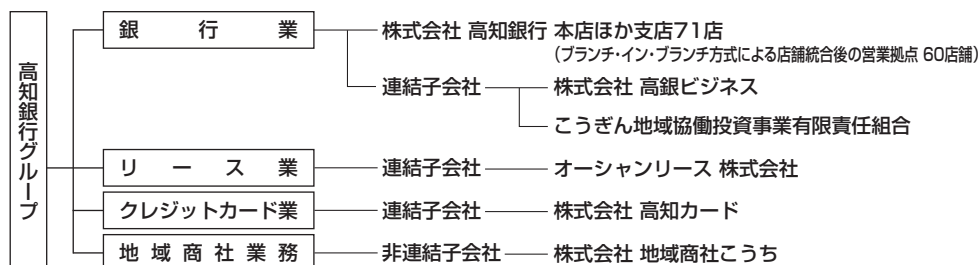


高知銀行グループの概況

●事業系統図（2023年9月30日現在）

当グループは、当行、当行の連結子会社4社及びその他非連結子会社で構成され、銀行業務を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの金融サービス及び地域商社業務に係る事業を行っております。当グループの事業に係わる位置づけは次のとおりであります。



●連結子会社の概要（2023年9月30日現在）

会社名	事業の内容	設立年月日	資本金又は 受入出資金	当行 出資比率	他子会社 出資比率	住所
株式会社 高銀ビジネス	現金精査整理業務、清掃管理業務	1979年 8月22日	1,000万円	100%	—	高知市本町三丁目3番4号
こうぎん地域協働投資事業有限責任組合	投資業務	2016年 4月 1日	6億円	98.3%	1.7%	高知はりまや町一丁目5番28号
オーシャンリース株式会社	リース業務	1974年10月 1日	2,000万円	45%	—	高知市知寄町一丁目4番30号 YKSちよりビル3F
株式会社 高知カード	クレジットカード業務	1987年 8月18日	2,000万円	5%	37.5%	高知市知寄町一丁目4番30号 YKSちよりビル2F

営業の概況

●経営環境

当中間連結会計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）のわが国の経済は、公共投資は堅調に推移し、雇用所得環境が改善する下、個人消費や設備投資は堅調に推移し、輸出は持ち直しの動きがみられるなど、全体としては緩やかな回復の動きとなりました。

当行の主要営業基盤である高知県の経済は、住宅投資は減少しており、設備投資や生産は一部に弱めの動きがみられるものの、個人消費は着実に持ち直しており、全体では横ばい圏内の動きとなりました。

●業績（連結）

経常収益は、株式等売却益の増加等により、前年同期比1億36百万円増加して114億38百万円となりました。一方、経常費用も、システム関係投資による物件費の増加等により、前年同期比5億55百万円増加して104億58百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比4億19百万円減少して9億80百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比51百万円減少して7億57百万円となりました。

当中間連結会計期間末における財政状態については、総資産は前連結会計年度末に比べ577億円減少して1兆1,276億円となりました。また、純資産は第1種優先株式の消却等に伴い前連結会計年度末に比べ185億円減少して584億円となりました。

譲渡性預金を含めた預金等は、個人預金、一般法人預金等は減少しましたが、公金預金が増加したことから、前連結会計年度末に比べ34億円増加して1兆320億円となりました。一方、貸出金は金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、個人等は増加しましたが、建設業、各種サービス業、製造業等が減少したことから、前連結会計年度末に比べ89億円減少して7,461億円となりました。また、有価証券はその他の証券、株式等が減少しましたが、社債、国債が増加したことから、前連結会計年度末に比べ33億円増加して2,954億円となりました。

なお、セグメント情報における経営成績については、銀行業務での経常収益は前年同期比5億9百万円増加して87億83百万円、経常費用は同比9億2百万円増加して78億60百万円、セグメント損益は同比3億93百万円減少して9億22百万円の利益、セグメント資産は同比684億39百万円減少して1兆1,165億34百万円、セグメント負債は同比563億73百万円減少して1兆632億54百万円となりました。

リース業務での経常収益は前年同期比3億89百万円減少して25億31百万円、経常費用は同比3億82百万円減少して24億44百万円、セグメント損益は同比6百万円減少して86百万円の利益、セグメント資産は同比1億41百万円増加して116億75百万円、セグメント負債は同比89百万円増加して72億91百万円となりました。

クレジットカード業務での経常収益は前年同期比18百万円増加して1億80百万円、経常費用は同比35百万円増加して2億6百万円、セグメント損益は同比17百万円増加して25百万円の損失、セグメント資産は同比8億58百万円増加して36億71百万円、セグメント負債は同比8億22百万円増加して25億43百万円となりました。

最近3中間連結会計期間及び2連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移

(単位：百万円)

	2021年度中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	2022年度中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	2023年度中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	2021年度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	2022年度 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
連結経常収益	11,097	11,301	11,438	22,099	23,080
連結経常利益	1,528	1,399	980	2,314	2,551
親会社株主に帰属する中間純利益	1,321	809	757	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	1,606	1,601
連結中間包括利益	2,396	△ 3,815	△ 1,000	-	-
連結包括利益	-	-	-	△ 746	△ 3,858
連結純資産額	77,872	70,450	58,483	74,533	77,030
連結総資産額	1,223,523	1,195,516	1,127,622	1,211,569	1,185,393
連結ベースの1株当たり純資産額(円)	5,881.35	5,161.76	4,778.10	5,560.26	5,129.67
連結ベースの1株当たり中間純利益金額(円)	123.11	72.61	69.09	-	-
連結ベースの1株当たり当期純利益金額(円)	-	-	-	140.17	139.29
連結ベースの潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額(円)	46.52	26.04	18.93	-	-
連結ベースの潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額(円)	-	-	-	55.27	49.63
自己資本比率(%)	6.10	5.62	4.89	5.88	6.22
連結自己資本比率(国内基準)(%)	10.05	9.96	8.54	9.79	10.98
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,579	△ 2,629	△ 32,868	△ 34,283	△ 31,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,737	△ 9,462	△ 4,017	2,488	6,114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 266	△ 267	△ 17,545	△ 462	6,354
現金及び現金同等物の中間期末残高	153,951	115,442	53,863	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	-	-	-	127,802	108,294
従業員数(人)	788	775	746	770	746
[外、平均臨時従業員数]	[302]	[301]	[308]	[304]	[302]

(注) 1. 自己資本比率は、(中間)期末純資産の部合計 - (中間)期末新株予約権 - (中間)期末非支配株主持分)を(中間)期末資産の部の合計で除して算出しております。
 (注) 2. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出してしております。当行は国内基準を採用しております。

連結自己資本比率(国内基準)

(単位：百万円)

2022年9月末

自己資本比率	9.96%
自己資本(コア資本)	67,785
コア資本に係る基礎項目	68,228
コア資本に係る調整項目(△)	443
リスク・アセット等	680,105

2023年9月末

自己資本比率	8.54%
自己資本(コア資本)	57,734
コア資本に係る基礎項目	58,322
コア資本に係る調整項目(△)	588
リスク・アセット等	675,393